

## 郡司浩が当所記念初Vに闘志

平塚競輪場開設70周年記念「湘南ダービー」は、4月9日〜12日の日程で開催される。平原康多は欠場したが、郡司浩平、松浦悠士、村上博幸、中川誠一郎とS班4名が参戦する豪華メンバー。他にも和田真久留、柴崎淳、木暮安由らの実力者がそろっているし、スーパーキー・坂井洋の名前もありファン必見のシリーズだ。また、最終日の第6レースにてS級ブロックセブンが一発勝負で行われる。こちらが菅田孝道、岡村潤らトックラスが走るの目が離せない。

今年初のS班となった郡司浩平は、初戦の1月立川記念の準決で落車し、鎖骨を骨折するアクシデントに見舞われた。多難なスタートと思われたが、復帰戦の全日本選抜は2回

⑤着。負傷の影響を微塵も感じさせない、素晴らしいスピードの切れ味を披露した。その後も反動は見られず、2月静岡記念③①①③着、3月玉野記念④③①①着と快走続き。更にウイナーズカップでは初日特選、毘沙門天賞と連勝している。今の調子なら地元記念で主役を譲る訳にはいかない。地元記念は小田原は3V、川崎で2Vを達成しているが、当所はまだVがない。初Vに向けて闘志を燃やす。和田真久留は郡司と同県同期で、当所が



郡司浩平

ホームバンク。郡司との連係が叶うようなら優勝も狙える実力者だが、最近の動きは今ひとつで、ウイナーズカップも③⑤欠着。二次予選は中団をキープしたものの、全く仕掛けられずに終わっている。調子の積み上げが欲しい。

対峙するのは松浦悠士だ。松浦も今年初のS班で、1月和歌山記念、同月高松記念を連覇と最高のスタートを切った。全日本選抜は決勝で落車し、続く2月奈良記念は欠場したが、復帰戦の3月松山記念は①③③着とオール確定板入り。落車負傷の不安を一掃した。優勝したウイナーズカップでは、ラインの先頭で戦ったのは準決のみだったが、逃げた松井宏の番手に飛び付くソツのないレース運びで貫禄のアタマ。状態は申し分なくこも同様に俊敏な立ち回りから自力を出してのVゲットは大いにある。

特選2着で毘沙門天賞に駒を進めている。巧みな位置取り、的確なコース選択、鋭い差し脚は相変わらずだ。松岡健介は一時期調子を落としていたが、ウイナーズカップは③①着で準決に乗るなど立ち直ってきたし、稲川翔は3月松山記念①③④着、ウイナーズカップは②①④①着と好調子を維持している。好連係を決めれば近畿勢から優勝者が出て不思議ではない。

注目株はスーパーキーの坂井洋だ。昨年10月に特別昇級を決めたばかりだが、すでに2Vを達成しているし、ビッグレース初参戦のウイナーズカップでは選抜戦ながらまくって1勝を挙げている。非凡なスピードを遺憾なく発揮できればS班の自力型を苦境に陥れる可能性もあるのでは。木暮安由は坂井と連係が叶うような前を任せよう。最近の木暮は好調と言えるような動きではないが、実力者なので展開が向けば好勝負に持ち込める。



村上博幸

SHONAN BANK WITH TOKYO PERFORMANCE DOLL ANNIVERSARY 70 Years 1950 2020

平塚市営競輪開設70周年記念  
湘南ダービー GIII  
開門時間(4日間) 9:45

4/9 10 11 12  
THURSDAY FRIDAY SATURDAY SUNDAY



松浦悠士

自慢のスピードが影を潜めていた柴崎淳だが、徐々に良くなってきた印象だ。更に良化すれば一発

主力メンバー		※2020年3月30日現在	
阿竹智史	徳島 徳島市 37	松浦悠士	広島 広島市 29
郡司浩平	徳島 徳島市 37	村上博幸	京都 長岡京 29
柴崎淳	三重 三重郡 33	木暮安由	群馬 前橋市 35
和田真久留	神奈川 藤沢市 29	中川誠一郎	熊本 熊本市 40
松岡健介	兵庫 西宮市 41	松浦悠士	広島 広島市 29

平塚記念 出場予定選手			
級班	氏名	登録地	期別 競走得点
SS	中川誠一郎	熊本	85期 109.00
S1	郡司浩平	神奈川	99期 120.15
S2	渡邊秀明	神奈川	68期 95.50
S2	真船圭一郎	福島	94期 102.43

※2020年3月30日現在のデータです。